

いつまでも健康な体でどこまでも

けんしょうかい

健翔会だより

127号

2025・6月1日

発行所

香川県坂出市川津町

(〒762-0025) 3329-14

医療法人社団 健翔会

堀口医院

TEL 0877-45-8686

◎本紙に関するご意見、ご質問がありましたら
お気軽にどうぞ！

<担当>高橋, 青北

TEL 0877-45-8686 FAX 0877-45-8883

HP <http://www.horiguchi-hp.jp>

病気が治る可能性があるとしたら

人が病気になるのは、病気の根が生えるからです。言い換えれば病気の根を抜く力が無いからです。すなわち病気を防ぐ力(自己防御力)を失っているからです。ですから病気を阻止するためには、常日頃から盤石な自己防御力を備えておくことが必要です。また、すでに病気がある場合、それを治すには、再び自己防御力を丈夫にする以外にありません。たとえば癌を治療する場合、手術や抗がん剤治療、放射線治療を行います。これ自体は必要なことです。病状に応じて適切な方法を選べばよいと思います。しかし、いかなる治療法を選択しようとも、癌を治すための目標は自己防御力の回復になります。例えば同じ病状で、同じ抗がん剤治療を行っても、ある人は治り、ある人は治らなかったとするなら、その違いは自己防御力の回復があったかどうかだけです。癌に関わらず病気を治すためには、必ず自己防御力の回復がなければなりません。また抗がん剤の中には、癌を縮小させる傍ら、むしろ自己防御力を低下させるものがあります。しばしば見られるのは、免疫力の低下と血行障害です。はじめのうちは、とても効き目があつたのに、そのうち効かなくなったというのは、その例です。抗がん剤治療を行うことは必要なことです。しかし抗がん剤をすることが癌治療の目的ではなく、常に自己防御力の回復でなければなりません。

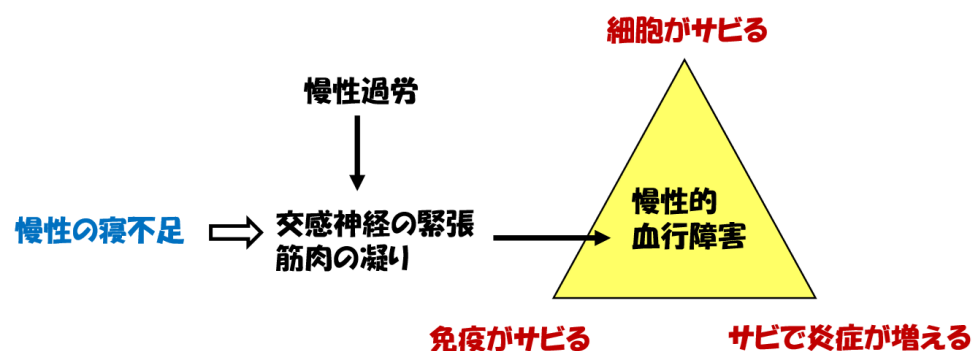


生まれてきた幸せを感じながら

人の寿命は限られています。しかし自分でそれを決めることはできません。与えられた人生を、少しでも明るく、楽しく、幸せに過ごすべきです。誰しも癌になったなら、完全に治せたらいいなと思うはずですが、でも、どうしても癌が消えない場合があります。そのまま抗がん剤を変えながら治療を進める場合がありますが、自己防御力が低下し続けると、もはや自力で生きられなくなります。少しでも明るく、楽しく、幸せに過ごすためには、たとえ癌が大きくなっても、ときどき抗がん剤治療の投与間隔をあけて、少しでも自己防御力の回復に努力すべきだと思います。身体が元気にならなければ、結局抗がん剤治療の継続もできません。

病気の原点をみつめる

病気になるのは、病気の根が生えるからです。すなわち自己防御力が低下しているからです。その原因は、慢性的な血行障害によって体がサビるためです。細胞の元気が悪くなり、免疫力が悪くなり、そして炎症が増えるためです。血行障害の理由は、交感神経の働きで血管が縮み、また筋肉の緊張で血管が圧迫されるからです。それらは心身のストレスと過労によるものですが、それ以上に慢性的な睡眠不足が大きな要因です。午前0時から朝6時までの6時間を含んで、1日8時間の睡眠をとるべきです。それには午前中10時くらいまでに日光のもと、ゆっくりペースで歩きます。春名式かくりん気功を実践できるなら、より望ましいです。また入眠直前に41℃で入浴し、深部体温を下げやすくします。食事では、大麦などガンマアミノ酪酸(ギャバ)を含むものを摂るようにします。



病気の根を治療する

私は長年に亘り、独自で開発した還元電子治療を実践しています。この場合の治療とは、決して病気の治療のことでは無く、病気の根を治療するという意味です。すなわち自己防御力を回復するための治療です。それは人生を少しでも明るく、楽しく、幸せに過ごすためのものです。一人ひとりが、素敵な人生になることを切に願っています。

還元電子治療器



第二十四回「けんしょうかい川柳」入選作品

大賞 作者 宮本明美様 香川県在住

『イオン吸う

大口あけた

こいのぼり』

作者解説

大空に大口あけて元気に舞うこいのぼり
きつとマイナスイオンを取り込んでいるのでしょう

院長コメント

そうですね。空気中にはマイナスイオンがあります。
私たちは沢山マイナスイオンを吸うとアルカリ性の体質に
傾き健康になれるのです。

院長賞 作者 ラッキー様 香川県在住

『花みずき

母の声する

歯科医院』

作者解説

花みずきの花が好きだった母。大きな花みずきの木のある
歯科医院で話題となった。
そこに行くと母の声が聞こえるようだ。

院長コメント

当院にも通われていましたね。とても素敵なお母様でした。
還元電子治療で、とても元気に過ごされたことを懐かしく
思い出しました。

エナジー賞 作者 宮本章壽様 香川県在住

『桜見た

命が続く

エナジーだ』

作者解説

大病院の先生から、余命半年の宣言があった。
しかし今年も満開の桜を愛でることができました。
エナジーのおかげだと感謝しています。

院長コメント

本当に良かったですね。これからも還元電子治療を
続けて下さい。元気なら人生はとても楽しいです。

その通りで賞 作者 渡邊美千代様 兵庫県在住

『花粉症

今年はちがうよ

エナジーか』

作者解説

花粉症の主人が今年は少しクシャミが出ただけ
だと喜んでいました。エナジーのおかげかなと。

院長コメント

還元電子治療は、体調を整えてくれます。とりわけ
体の老廃物を取り除き、免疫力を回復します。
いつまでもお元気で過ごして下さい。

こころちよいで賞 作者 森井孝子様 香川県在住

『風そよぐ

鳥とんでいく

庭園で』

作者解説

堀口庭園、せいたくな時間を与えてくれています。

院長コメント

病院の廊下から庭へ出ると、途端に別世界が現れます。
緑の木々と色とりどりの花に囲まれた庭園の中に滝が流れ、
小鳥がさえずり、蝶が舞い、小さな虫たちが遊んでいます。
風にあたりながら、椅子に座って空を見上げると、とても
気分が穏やかになります。皆さんも一度そうしてみして下さい。
私のお気に入りの場所です。



次回のご応募締め切り日は七月十五日です。
健翔会だより一二八号は八月一日発行分に掲載致します。
沢山のご応募お待ちしております。

けんしょうかい川柳 選考委員会